

有明高専だより

第86号

1995. 6



緑のシャワー

目次

第33回入学式式辞	2	海外研修報告	11
新入生オリエンテーション	3	卒業生の進路・表彰	12~13
新任教職員 Q & A	4~6	学生表彰	14
卒業式送辞・答辞	7	学生行事・研修旅行	15
退官教官 Q & A・高専大会日程	8~9	行事予定・公開講座・編集後記	16
図書館だより	10		



第33回 入学式 式辞

本日ここに工業技術の道を志す211名の新生と10名の編入生の皆さんを迎え、ご来賓並びに保護者の皆様のご列席のもとに、有明工業高等専門学校第33回入学式を挙行いたしますことは、本校関係者の心から喜びとするところであります。

日頃の努力と精進が実を結んで入学を許可された皆さん、入学おめでとう。教職員が学生全員を代表して皆さんの入学を心から歓迎し祝福すると同時に、入学生諸君の保護者の皆様に対し、衷心よりお祝いを申し上げます。

申すまでもなく、本校は国立の高等教育機関であります。高等教育機関の中にあつて高専は、中学校卒業生に対し5年間一貫の早期専門教育を行い、「職業に必要な能力を育成する」という点に特徴があります。これから知られるように、工業高等専門学校である本校は、将来職業人として、工業技術を通じて社会の発展に寄与しようとする人材を育成することを目的としております。

そもそも技術とは、人間がよりよい生活を願うことから生まれた生活の知恵であり、別の言い方をすれば、人間の本性である探求心と向上心が具体化されたものと言えます。真理や真実を求め、新しい道具を考案し造ろうとする精神作用は、人間が生まれながらに持っている性質なのです。

工業技術は、このような人類の技術の延長線上にあつて、自然科学が生み出した学術的成果を、人間の生活に役立つ具体的な「もの」の形にして、人々の用に供することを使命としています。従って、工業技術者という職業は、新しい「もの」を造り出す喜びを味わいながら、社会の発展に寄与できる大変恵まれた職業と言えます。

これまで、工業技術は社会を支える原動力として、人類の繁栄に大きく貢献してきましたが、今後、急速な人口増加のもとで、人類が豊かな生活を続けるためには、従来にも増して工業技術の力を必要としています。皆さんは、工業技術者を志すことに夢と誇りを持ち、今から述べる技術者が持つべき要件を身に着けるために、しっかりと目的意識を持って、これからの5年間、研鑽(けんさん)を重ねてほしいと思います。

その第一として、基礎学力を養い、専門分野の工学の基礎をしっかりと吸収し、さらにこれを実際の技術的問題にどのように応用すれば良いかを、実験研究や実習を通じて体験的に修得することが大切で、これが高専における実践的技術者教育の根幹をなしています。それに加えて、教わったことを頭から鵜呑(うの)みに憶えずに、

「なぜそうなのか?」「どうしてそうなるのか?」をいつも考え、その理由を自分で納得しながら学習することが大切です。

第二は、人間としての内面的充実の努力です。工業技術に関連した仕事は、そのほとんどが個人ではなく、企業という組織化された人間の集団の力で行われます。従って仕事を円滑に運ぶためには人間関係が大事で、周囲の人々に技術面だけでなく、人間的にも信頼され、魅力を感じさせる存在でなければなりません。それに加えて、工業技術に携わる人々には、目の前の経済効果とか便利さと言った狭い視野からではなく、もっと長期的で広い視野に立って、どのような技術や製品が人類にとって必要なのかを見極めるための洞察力と判断力が求められています。これらを養い、人間的成長を図るには、社会の様々な動きや出来事に常に興味を持って、自分なりに考える習慣を身に着けることと、哲学、歴史、文学、その他様々な方面に興味を持って、豊かな教養を身に着ける努力が必要です。

さらに、コミュニケーションの訓練も大切です。自分の考えや意見を口頭、文書のいずれでも、上手に、しかも正しく人に伝えられる能力が不可欠です。自分で心がけて能力向上を図ってください。

技術者が持つべき要件の最後は健康な身体です。将来皆さんが技術者として仕事に存分に力を発揮しようとするとき、それを支えてくれるのは健康な身体です。在学中は正課や課外活動を通じて心身を鍛錬し、体位の向上と体力の増進に励んでください。

大牟田、荒尾両市の中心街から離れ、緑の小岱山、三池山と、陽光に輝く有明海を遠くに望む、閑静で自然に恵まれたこの萩尾台は、皆さんが勉学に励み、人格の陶冶に努め、体力を育むには絶好の場所です。この恵まれた環境の中で、皆さんが先生への信頼と友達への友情を深めながら、青春の一日一日を有意義に過ごし、積極的な学生生活を送られることを願って式辞といたします。

平成7年4月11日



有明工業高等専門学校長
高松 康生



新入生オリエンテーション

平成7年4月17日～19日
国立阿蘇青年の家

研修についての感想文です。紙面の都合で各編とも抜粋になっています。

1M 中村 嘉郎

この研修の3つの目的の中で、一番果たせた気がするのは「級友との友情」である。同じ班の仲間とはすぐ打ちとけられたし、クラスメイトとも気軽に話せるようになった。しかし、他の2つ「学校生活のルール」と「集団生活のマナー」は、今まで家庭に一人の空間があり、好き勝手にやっていた自分には、少々つらいものがあり、「級友との友情」ほど目的を達成することができなかった。しかし、1,000人の学生と一緒に勉強し、生活をしていくためには、ルールやマナーは絶対大切なことだから、早く慣れるようがんばらなければいけないと思う。

1E 福原 進也

この阿蘇青年の家に来て、自分なりに一番よかったと思えたことは、級友との人間関係が、わずかばかりではあるができてきたということです。3月8日の出校日の日や、学校が始まってしばらくの間は、同じ学科に同じ中学校の出身者がいなかったせいもあって、回りの人と話すことすらできない状態で、本当に友達ができるか心配でした。しかし、今は同じ部屋に泊まった12名の人をはじめとして何人かの人と話したり遊んだりすることができるようになりました。まだ、クラスが一致団結とまではいきませんが、この研修を機にその方向へ向かうだろうと思います。

1I 松本 珠美江

この研修で学んだことはたくさんある。その一つがあいさつの仕方だ。私は人見知りをするほうなので、知らない人にはあいさつできなかった。しかし、この研修であいさつをしなくては行けないと言われて、できるだけちゃんとあいさつをするようにした。初めは、いやいやながらしていたという感じだったけど、だんだんとあいさつをするのが好きになった。これからは先生にはちゃんとあいさつをするようにしようと思う。

この研修でこの紙には入らないくらいたくさん学んだが、先生ともっと仲良くなれなかったのがちょっと心残りだ。



1C 山下 満里子

研修に参加して一番心に残ったのは何と言っても校歌の練習です。行きのバスの中での練習のとき、女子の声のあまりの小ささに指導する団長もびっくりされていました。しかし、団長は大きな声も出さず、私達を優しく指導してくださいました。そんな先輩の優しさに答えるためにもと考えて、青年の家に着いてから部屋でみんなで練習をしました。そして本番では、クラスの一人一人が一生懸命に大きな声を出して歌い、どの学科よりも早く練習を終えることができました。うれしそうにOKのサインを出してくださった先輩の笑顔を見たとき、本当にがんばって良かったと思いました。私は、この校歌練習を通して、団結力のすばらしさと自分の力を精一杯出しきることの大切さを学びました。

1A 古賀 千維

この研修でこれからの生活についてのいろんな厳しさを学びました。私が一番大切だと思ったことは、目標を持って勉強することです。しっかり目標を立てて勉強していけば、そのうちにやる気が出て自主的に勉強できるようになると思います。

高専というところは、高校と違って、何でも自分でやっていかなければならないようなので、不安もありますが、目標をもってしっかりがんばっていけば何とかかなと思います。まだ目標ははっきりしないのですが、とりあえず自分の力を試しながら一日一日を大切にがんばっていきたいと思います。



新任教職員 Q & A

新任の教職員の方々を次のQ1～4で紹介いたします。

- Q1 本校へ来る前は？
- Q2 本校あるいは本校学生の印象について
- Q3 趣味は？
- Q4 抱負を一言



名前 堤 清康
所属 機械工学科
専門分野 制御工学

- A1 来年度100周年を迎える県立福岡工業高等学校に35年間、在職していました。
- A2 本校は前任校の昭和30年代頃のよき時代を彷彿させる大人の風格があります。自由な雰囲気の中で学生の自主性が尊重され、授業への取組みも意欲を感じさせます。これ等も自律心が損なわれてくると何かとマニュアルが導入されて、あれはいけない、これはこうしなさいと規制がちになる。そうならないように考えて行動してほしいと思います。
- A3 趣味は機械の歴史をひもとくうち、人間の文化は道具を使うことから始まったわけで、各地方を訪ね、古民具の収集から陶芸の創作まで手掛けています。
- A4 抱負は卒研生と共に六十の手習いで自動制御のいくつかをマスターしたいものと思っています。



名前 堀切 淳一
所属 電子情報工学科
専門分野 制御工学

- A1 福岡県行橋市にある(株)安川電機インバータ工場に勤務していました。
- A2 初めての人にもよく挨拶する親しみやすく明るい校風が感じられます。また自然環境に恵まれており、特に桜の満開の季節はすばらしいと思います。

- A3 趣味と言えるところではありませんが、古い遺跡に興味があります。少し落ち着いたら近所から廻ってみたいと思っています。
- A4 一日も早く学校に慣れ、伝統ある本校の発展と若い学生の人材育成のためにお役に立ちたいと思っていますので、よろしくお願いします。



名前 山崎 直子
所属 電子情報工学科
専門分野 知能情報学

- A1 佐賀大学大学院工学系研究科博士前期課程情報科学専攻で学んでいました。
- A2 環境に恵まれた学校で、明るくのびのびとした学生が多いという印象を受けました。
- A3 音楽鑑賞、茶道、華道など。
- A4 学生のよき相談相手となれるように精一杯がんばります。よろしくお願いします。



名前 三浦 博史
所属 物質工学科
専門分野 細胞工学

- A1 長崎大学薬学部を退職してから本校に着任するまでの一年間、気ままな生活を謳歌するつもりが、結構忙しい毎日でした。思うことあって退職前から始めた中国語会話の他、漢方の勉強、薬草標本の整理等々。放射薬品学教室に移る前は生薬学教室だったので、そのしがらみから抜け出しきれないんですね。専門は放射化学、細胞工学です。

- A2 有明高専の恵まれた環境が自然に育んだのか、皆さん温和で親切な方ばかりですし、学生はとても素直。有明高専がすっかり気に入りました。
- A3 趣味は山歩き。昨年10月、念願叶い、ネパールヒマラヤのトレッキングを楽しみました。
- A4 高専は初体験なので、今は学ぶことばかり。学生が気軽に話しかけてくれるような教師に早くなりたいものです。皆さん、どうぞよろしく。



名前 小野 聡子
所属 建築学科
専門分野 建築構造学

- A1 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程で摩擦面をアルミ溶射した摩擦ダンパーの研究をしていました。1月17日の阪神大震災にも遭っています。
- A2 女子学生が多いこと。私は高2～大学院まで女子学生の少ない学校生活を送っています。学校の後輩によく、「(小野さんは女性なのに)男子校に通っている。」と言われていました。
- A3 編物、音楽を聴いたり演ること、茶道、ドライブ、(このごろしていませんが、やせるための)筋トレ。
- A4 学生生活は長いですが、高専は初めてです。わからないことは一杯です。精一杯がんばるつもりですので、よろしくお願いいたします。



名前 川上 龍男
所属 一般科目
専門分野 代数学

- A1 熊本県内公立普通高校で31年、前任校は熊本西高校。放送部顧問として20年連続全国大会出場は良き思い出。
- A2 自然に恵まれた素晴らしい教育環境だと思います。学生も伸び伸びと勉強にクラブにとがんばっているようで、ある面では教育の理想像を見る思いがします。ただ基本的な生活習慣ができていない学生が若干見られるようです。
- A3 淡水魚飼育とストレス解消の社交ダンス。時間が

あれば映画鑑賞、音楽鑑賞など。

- A4 学生の指導と自己研修をいかに両立させていくか、期待と不安が交錯。早く校風に馴れて教官としての役割を果たした上で、何か思い出に残る仕事の一つでもできればと思います。



名前 山口 英一
所属 一般科目
専門分野 インド哲学史

- A1 九州大学文学部助手(インド哲学史)。
- A2 下級生は同年代に比べてしっかりしている様に思えるが、上級生はやや幼く見える。
- A3 個人輸入。学生時代はコーラスとリコーダー演奏に熱中していましたが最近は無沙汰。
- A4 大学では長い間、少人数の学生たちしか接する機会がありませんでしたが、高専では毎日多くの学生たちと出会うのが楽しいです。学生諸君のエネルギーを分けてもらって自分も思う存分、いろんなことに取り組みたいと思います。



名前 西山 治利
所属 共通専門
専門分野 数理統計学

- A1 九州大学大学院数理学研究科において、数理統計学の研究をやって、今年卒業しました。
- A2 自宅付近の環境によく似ているなあと思いました。学生に対する印象は、素直で正直だなと思いました。
- A3 あまり人に言えるような趣味ではありません。(法律にふれるようなものではありません。念のため。)
- A4 高専はもとより、このような学校に勤めるのは初めてですので、このような抱負が良いのか悪いのかわかりませんが、自分自身がここでの生活を楽しめるようにがんばりたいと思っています。



名 前 田 中 博 之
所 属 会 計 課
会 計 課 長

- A 1 私は、昭和15年7月3日福岡県三池郡高田町で誕生しました。その後、柳川市にある高等学校を卒業し、北九州財務局に就職し同局の福岡市内にある独身寮に入寮するまで、高田町に住み井の中の蛙でした。財務局での勤務は約36年になります。
- A 2 商店等が付近にあまり見当たらず、生活する上では不便ですが、反面、青空が広がり環境的には教育機関の立地上申し分ありません。
- A 3 ゴルフとスポーツ観戦です。
- A 4 公務員生活も最終コースに入ったと思われませんが、過去の経験を有意義に活かして、有明工業高等専門学校発展のためにいくらかなりとも貢献したいと思っています。



名 前 山 本 敏 彦
所 属 庶 務 課
人 事 係 長

- A 1 九州大学におりました。
- A 2 自然環境抜群！
学生はティーンエイジャーの若々しさを感じます。
- A 3 テニス等と読書。
- A 4 今までは久留米から、北に約40kmの福岡に通勤していたのが、今度は南に40kmの大牟田です。電車の窓からの景色が変化しました。新緑の候、木々の葉と若者たちが、眩しいです。皆様と明るく、楽しく、仲良くやっていきたいと思っています。よろしくお願いします。



名 前 池 上 勝 也
所 属 電 子 情 報 工 学 科
文 部 技 官

- A 1 佐賀大学理工学部電子工学科の学生でした。
- A 2 明るくて親しみやすい学生が多いという印象を受けました。
- A 3 音楽鑑賞、スポーツ（最近運動する機会が少なくなり体力が落ちてきているのを痛感しています。）
- A 4 まだ未熟な部分が多いと思いますが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願い致します。



名 前 石 田 典 子
所 属 物 質 工 学 科
文 部 技 官

- A 1 この4月に、物質工学科の技官として出身地の北九州市よりこの大牟田市へとやって参りました。つい最近まで学生だったわけですが、大学在学中は所属していた吹奏楽部の活動と実験レポートに追われる毎日で、今思うと学生生活はあっという間に過ぎていったような気がします。
- A 2 有明高専の第一印象は、すごい場所にあるなということです。また、女子学生が意外に多く明るくて活気のある学校だなと感じました。
- A 3 趣味は、映画鑑賞と野球観戦です。映画は洋画が好きで、野球はダイエーの大ファンです。
- A 4 抱負としては、何事にも常に前向きに取り組み、また、学生の皆さんにとって身近な存在であるように努力していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



平成6年度 卒業式送辞・答辞

送 辞

厳しかった冬もようやく終わりを告げ、今年も小鳥たちのさえずりが響きわたる暖かい季節を迎えました。社会人として、また大学生として、門出の春を迎えられた5年生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。

振り返れば、私たちが先輩方に初めてお会いしたのも、この季節でした。何もかもが初めてで、不安でいっぱいだった私たちに、兄や姉のように、親身になって、高専生活がどういうものかを教えて下さった先輩方、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今まで、幾多の困難に立ち向かい、歓喜と反省を繰り返しながら、先輩方は、5年の歳月をかけ、一步一步、着実に、将来へ通じる道を築き上げてこられました。時には、大きな壁がその道を閉ざし、前進できなかったこともあったでしょう。その壁を乗り越えることは、並大抵な苦勞ではなかったと思います。しかし、現にこうして、乗り越えられた先輩方。そのおかげで、後に続く私たちも、つらくても、道に迷うことなく、何とかして乗り越えていくことができたのです。「在校生への教訓」として、これを受け継いでいくことが、私たちの責務であると思っています。

平成6年夏、最後の高専大会。完全燃焼された先輩方の姿は素敵でした。同じ9月の体育祭。「激動五大魂」のテーマの通り、萩尾の地が揺れるくらいに、5学科が本気でぶつかり合った体育祭。偉大な5年生の姿を見て、感動するとともに、勝敗よりも大切なものがあることを知りました。

いよいよ、社会人や大学の編入生としての第一歩を踏み出されるわけですが、社会人の新入生という立場におかれましては、より厳しい環境に立たされると思います。期待と不安の入り混じったような気持ちがあることと思いますが、有明高専で学ばれたことを生かして、そして、萩尾の地より応援している私たち後輩の姿を思い浮かべてがんばってください。私たち在校生は、先輩方から受け継いだ伝統を守るとともに、先輩方のご健闘を心よりお祈りいたしております。

平成7年3月17日

在校生代表 学生会会長 荒山和子

答 辞

どこからともなく力がみなぎってくるような春を感じます本日、私たち196名は晴れて卒業式を迎えることができました。

校長先生の告辞、文部大臣のご祝辞や、後輩の温かいお祝いや激励のお言葉をいただき、お別れの寂しさを味わうと同時に、こみ上げる喜びを感じております。

思い起こせばこの5年間、短かったようにも、長かったようにも思えます。1年過ぎると後輩ができ、少し得意になったものでした。3年4年と過ぎてくると、上級生として、とりわけ体育祭や高専祭にいろいろな意味でリーダーとしての働きを求められました。また、4年生の冬あたりから、進路の話題が真剣味を帯びてきました。そうして、その頃から、一人一人の進む道が皆違うのだということを感じ始めました。不安と厳しさが迫ってきました。

人は人によって勇気づけられ、そして所詮(しょせん)は、自ら立ち上がらねばならない生きものであることを、この有明高専で教わったように思います。私たちはこれまで社会からさまざまなものを与えられて、育んできました。そして今、人々に還元する時期がやってきました。

21世紀は先が見えなくとも、私たちの時代です。本校で鍛えた体と豊かな精神力で切り開いていく覚悟であります。どうか見守っててください。

最後に、私たちを導いてくださった校長先生をはじめ諸先生方や力になってくれた後輩の皆さんに感謝の意を述べ、答辞といたします。

平成7年3月17日

卒業生代表 機械工学科 奥 蘭 剛



退官教官 Q & A

今年3月31日付けで退官された3名の先生方から、次の3つについて答えていただきました。

- Q1 高専でもっとも思い出に残ることは？
- Q2 高専あるいは学生に何を望まれますか？
- Q3 最後に今後のことについて一言。



猿渡正樹
(一般科目)

A1 私の人生の半分に近い31年間を、若い血気溢

れる学生諸君と有意義に楽しく過ごせたこと、また年々施設・設備・内容共に充実発展していく学校の姿を嬉しく感じながら勤務できたことです。私が着任したのは、本校が開学された次の年で、当時は機械・電気・工業化学の3学科で、学生諸君も1～2年生だけの240名位でしたが教職員も学生も開学の精神に燃えて、学習面でも生活面でもまた学校行事などにも一生懸命に取り組み、力を合わせて立派な伝統づくりががんばったことが忘れられない思い出です。

現在のような充実した施設・設備、千人を越える学生の活気ある学校へと発展した姿、また卒業生諸君が各分野で活躍されていることなどを思えば、感慨無量であり、嬉しいかぎりです。

A2 つねづね、私が学生諸君に感じていたことは、各種の学校行事のときに見せるあの意欲的な取り組みや積極的な態度のすばらしさを、なぜ学習面にも十分に生かせないのかなあ？ということです。数学の場合、基本事項をよく理解した上で問題解決に当たるわけですが、その基本事項の理解さえできずにつまづいている人がいます。基礎をきちんと積み上げれば十分に理解できる能力を持ちながら、努力が足りないために学力が思うように伸びず低迷していると考えられるので、本当に残念なことです。

毎日の努力によって学力の充実を図り、有明高専の学生として誇りと自信をもって、5年間の学生生活を有意義に送って欲しいと願っています。

A3 私にとって本校は本当に気持ちの良い楽しい学校でした。しばらくは、非常勤としてご協力したいと思っています。生涯この荒尾の地で暮らしますので、本校の発展を陰ながら祈り続けたいと思います。

私も爽りある老後を送るために、心身共に健康に暮らすように心がけたいと思っています。

A1 28年間の在職を振り返ってみると、いろいろと思い出すこともあります。強烈な印象として残っているのは高専に赴任した当時のことです。私は高専に勤務する前は、12年間高校の教師をしていましたが、どうしても大学受験対策を無視できず、教科書の範囲を超えたところに手を伸ばせないもどかしさを感じていました。縁あって高専に転身しましたが、今度は高専独自のカリキュラムで講義することになり、その授業内容、程度には驚かされましたし、また新鮮なものを感じもしました。高校とは格段の差があり、学生には少し無理ではないかと思いつつも、私などは若さもあって無我夢中で教えたものです。学生もまた無我夢中で勉強していたようです。この頃が一番、学校全体が活気に満ちていたように思い出されます。

成富孝
(一般科目)



A2 近年は高校のように学生の資質、発達段階を考慮しながら授業をしてきたが、やはり発足当時のレベルは目標にすべきであったと私は反省をしています。学生に望むことはもっともっと勉強をなさいということです。試験の時だけの一時的な記憶だけで学力は身に付きません。1、2年前に勉強した内容も繰り返して、何度も復習することが肝要です。あたりまえのことですが、予習・復習は必ず実行してください。自分の勉強は自分

で計画し、それを忍耐強く実行し続けなければなりません。そうすれば、学生生活が楽しくもあり、希望に満ちてくるのです。試験のための勉強、やむを得ず引きずられたり、尻をたたかれたりしている勉強であれば楽しいこともなく、学校生活も憂鬱なものでしょう。要は自分が勉学の主人公となって主導権をつかむことです。

A3 小学校に入学して以来ずっと学校から離れたことがなく、私の経験も限られたものでしょう。他の社会には、まだまだ私には経験したことのない未知の世界がありそうです。いまから体験、読書などによって新しいことに触れていきたいと思っています。特に経済・経営に興味があります。最後に、高専のますますの発展を祈ります。



亀石圭志
(一般科目)

「静かにしなさい、前を向きなさい」と叫び続けて9年。そしてこの春、教員から転職して会社員に。慣れない仕事で毎日が大変です。何しろ、仕事に「時間割」なんてありません。チャイムで始まりチャイムで終わる、そんな学校での生活を懐かしんでいます。

A1 高専祭や体育祭。私の高校生活は、受験だけが大きな目的。生徒（高校ではそう呼んでいた）は、みんなバラバラ。今や、同窓会どころか、名前も顔も覚えていない。「集団」のすばらしさを感じさせていただきました。

A2 学生は、なによりもまず「勉強」。企業に入って「勉強」しようと思ったら、レジャーをあきらめるところか、それこそ睡眠時間を削り、友人関係を犠牲にするしかない。ちょっと極端だけれど、

どうも「会社人」は、それほど忙しい（私の今の実感です）。

次には、青春を楽しむこと。できれば、大きな大きな楽しみを見つけること。生き生きとした毎日を送れるのは、きっと、青年の特権。そして、高専ではそれが可能だと思います。「会社人」になると（教員もそうなんだけれど）、目の前の仕事をかたづけているうちに年をとることになるのだから。

A3 今後は、やっぱり目の前の仕事に追われて、毎日が過ぎてゆき……、というのはイヤだけれど、「宗教」に入り込むにも、ちょっと。今の仕事にもう少し慣れてきたら、小さな楽しみや夢を見つけようと思いはじめます。

新しい職場は、社員教育を主要な業務としています。ことによると、お客さまとしての皆さんに、また出会うことになるかもしれません。そのような機会があれば、どうかよろしく願い申し上げます。

高専大会日程

◎第32回九州地区高専体育大会

期 日 平成7年7月21日(金)・22日(土)・23日(日)

担当校 八代高専

陸上競技 熊本市水前寺競技場

ソフトテニス 八代市民テニスコート

バドミントン 八代市総合体育館大アリーナ

水 泳 八代高専水泳プール

ハンドボール 県立八代工業高校体育館

担当校 都城高専

硬式野球 都城市野球場

バスケットボール 都城市早水体育文化センター

卓 球 都城市体育館

剣 道 三股町武道体育館

担当校 鹿児島高専

サ ッ カ ー 鹿児島高専グラウンド

柔 道 鹿児島アリーナ

バレーボール 国分市総合体育館

テ ニ ス 知覧テニスの森公園

期 日 平成7年11月11日(土)～16日(木)

担当校 八代高専

ラグビーフットボール 八代高専グラウンド

◎第25回西日本地区高専弓道大会

期 日 平成7年7月21日(金)

主管校 鹿児島高専

場 所 国分市弓道場

◎第1回全国高専水泳競技大会

期 日 平成7年8月5日(土)

主管校 奈良高専

場 所 奈良県営プール

図書館が利用しやすくなりました

カウンター横に、所蔵図書検索のための端末（パソコン）が2台設置されました。これらの端末で、学習閲覧室および研究閲覧室に配架されているほとんどの図書が検索可能になりました。また、新たに「指定図書コーナー」も設けました。

1. 図書検索システムについて

(1) キーワードによる検索

本のタイトルがわからなくても、キーワードを入力することによって、その単語をタイトルに含む図書を探ることができます。そのような本があまりにも多い場合は、さらに別の単語を入力し、対象となる本を絞りこんでいきます。例えば、「日本」「公害」と入力すると、タイトルに日本と公害の両単語をもつ本を探ることができます。著者名で検索する場合も同様で、「芥川」と入力すれば、芥川の本が検索でき、さらに「地獄」と入力すれば、芥川龍之介の『地獄変』などが表示されます。

(2) 条件指定による検索

例えば、日本の歴史のなかで、特に江戸時代に関する本を探りたいときは、分類記号で探すのが簡単です。日本十進分類表NDC（端末の横に置いています）を見て、その分類記号210.5を入力すると、それら本の一覧が表示されます。

手元にある本が図書館に所蔵されているか知りたいときは、書誌IDで探すとよいでしょう。本の表紙などに書かれている国際標準図書番号（ISBN）のハイフンを除いた10桁の数字を入力すると、所蔵されていれば画面に表示されます。

検索の結果、貸出中と表示された図書についてはカウンターで予約してください。また、求める図書が所蔵されていない場合は、希望図書申込用紙に必要事項を記入して申し込んでください。（本の購入には1ヵ月程度要します）

なお、古い本は、まだ端末による検索はできませんので、従来どおり目録カードで検索して下さい。

図書は学習閲覧室の奥の方からNDC分類番号にしたがって配架されていますが、500番台の工学、007番台の情報科学関係および460～467番の生化学や微生物などに関する図書は、研究閲覧室に配架されています。

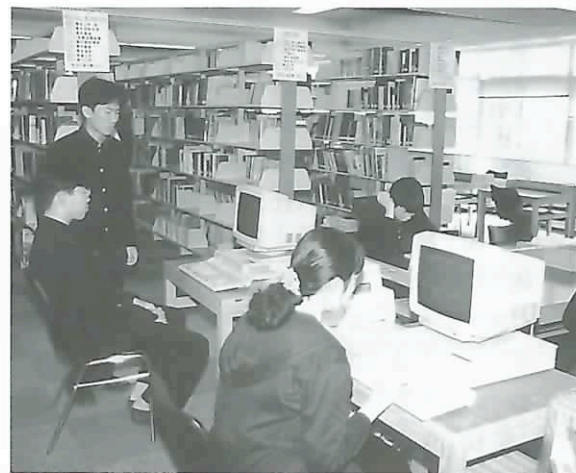
2. 指定図書コーナーの設置について

講義や実験の内容を理解するために必要な本を、あるいはぜひ読んでほしい本を各先生方に選定していただき、探しやすいようにこのコーナーに別置しました。折を見て必ず読むように心がけてください。

皆さんはエンジニアを目指して勉強していますが、言うまでもなく、そのような技術を学ぶまえに、一人の人間として豊かな精神を養うことが要求されます。文学、哲学、芸術など、できるだけ幅広い分野の本を読んで、いろいろなことを学び、ときには黙考し、ときには議論し、知識の修得に努め豊かな心を育ててください。読書にあまり関心がない人は、むずかしく考えないで、読み易い本、おもしろい本から始めるとよいでしょう。きっと、楽しい世界が広がると思います。先生方や図書館倶楽部編集委員の努力で、学生の視点で選んだ本も増えています。

学生みんなの図書館です。わからないときは、何でも気軽に相談してください。図書館が今以上に活発に活用され、ますます知性豊かな学園となることを希望します。

（図書館長 宮川 英明）



異文化社会と日本

イギリス留学記

高田 実

イギリス近現代史を専攻する筆者が、在外研究のためにロンドン、ヒースロー空港に降り立ったのは、1993年11月、もう冬が訪れている季節であった。それから10ヵ月間、各地の図書館や archives を巡りながら、史料を渉猟（しょうりょう）する生活が続いた。初めての海外での長期滞在は、極東の島国の生活しか知らなかった私の歴史観やイギリス観に大きな変化をもたらした。

まず、人々がどこにアイデンティティを求めているかという点で、日本とは大きな違いを感じた。極端に言えばわれわれはいろいろな意味で「日本人」としてのアイデンティティを強く意識しながら生きている。それは歴史的に見れば、明治以来の日本の近代化と大きく関連しているのであるが、そこでは、国家機構としての日本と国土としての日本は、あまり区別なく使われ、両者が一体となった形で、「日本」というものが意識されている。ところが、「イギリス」ではそれはかなり区別されている。そもそも、厳密な意味で「イギリス」という国は存在しない。United Kingdom of the Great Britain and Northern Ireland という国家が、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの「連合王国」として存在しているに過ぎない。それは国際社会の中では、ひとつの政治機構として意味を持っているが、人々がそうした意味での「イギリス」にアイデンティティを持っているとはどうも思えない。イングランド人 the English とスコットランド人 the Scottish、ましてやアイルランド人 the Irish とは、お互いが違うものに属する人々として意識されている（その証拠に周知のアイランド問題のみならず、近年ではスコットランド独立運動が盛んになっている）。さらに、それはもっと細分化され、自分がどの地域で育ってきたかを強く意識されている。少し親しくなるとこうした郷土意識が強く現れてくる。「北の人々は親しみ深い、南の人は冷たい」、「私はマンチェスターの生まれだが、ロンドンの人は冷たく思う。あれはイギリス的ではない。一度ぜひ、ランカシャーやヨークシャーにいらっしやい。イギリスの本当の良さがわかりますよ」という言葉が、聞かれるようになる。その背後には、各地のコミュニティが強い自立性を持ち、その文化が歴史の中で一定の変容を被（こうむ）りながらも持続性をもっている、という歴史的背景が潜んでいる。各地の人々は、国家という人為的に作られたもの以上に、そうしたコミュニティの伝統の中に自己のアイデンティティを求めようとしているのである。

次に感じたことは、日本は物質文化、経済効率至上主義文化としての性格が強いのではないかとということである。裏返せば、人間としての「豊かさ」という問題を

われわれはしっかりと考えてこなかったのではないかという問題である。滞英中、多くのショッピングに奔走する日本人旅行者を見かけたが、せっかくの休暇を利用した海外旅行でモノの購入に多くの時間をさく旅行のスタイルに違和感を覚えたのは私だけではないであろう。とりわけ、グッチやルイ・ヴィトンのバックをさげ、派手な化粧をして買い物旅行をする女子学生の姿は、まったく奇妙に映る。そこには異文化およびその中で暮らす人々との接触を希求する態度は希薄である。しかし、これは彼女／彼らだけの問題ではない。日本社会全体の抱える問題であろう。ヨーロッパに遅れて近代化を開始した日本にとって、近代化を達成する大前提は、急速な工業化を進め、国際的に競争しうる経済力を身につけることであった。そのためにヨーロッパを「モデル」としながら、国力増進に邁進（まいしん）してきた。その結果、「高度成長」が実現し、現在では世界のトップクラスの経済力をつけることができた。しかし、経済効率社会の中で、その達成度が作り出されたモノにより計られるようになることで、逆にそのモノが人間の本来の姿を阻害するという問題が生じている。サービス残業やふろしき残業による長時間労働や過労死の問題、学歴社会の競争に打ち勝つための加熱した受験競争問題、経済効率というひとつのものさしがはばをきかせる社会の価値基準の問題、一言で言えば人間としてのヒューマンな関係が希薄化しつつあるように思える。歴史家として、その問題を考えてみれば、歴史の変化のスピードとその目指すものに思いをいたさねばならない。イギリス社会が数百年かかって改革してきたものを、その結果だけを追いかけて僅（わず）か百年位で実現しようとするればどこかに無理が生じるのは当たり前である。近代化の「モデル」としてのイギリス、ヨーロッパという発想が産み出した負の側面を見据（す）えながら、われわれに必要な視点を作り上げる必要があるだろう。モノは「豊かさ」の手段であり、目的ではない。

これまでに述べたことは、いろいろな書物でも触れられていることではある。しかし、実際に異文化社会に住んでみると、そのことが実感として理解できる。人はその姿を鏡に映しださなければ、自分の姿を理解することはできないのだから。

「国際化時代」といわれるいま、異文化社会の理解を通じながら、自社会のあり方を考えることはますます重要になっている。高専という技術教育を行う高等教育機関にあって、技術のみではなく、その技術が使われる社会がどんな特徴と問題を持っているかを学ぶことを、いまほど求められている時代はないであろう。



卒業生の進路・表彰

機械工学科

氏名	就職先
芦原 裕二	豊橋技術科学大学(進学)
塚巻 龍一	第一精工(株)
石上 葉文	矢崎総業(株)
上奥 剛	大橋エアシステム(株)
茅島 琢	三菱重工(株)長崎造船所
河上 伸	竹下産業(株)
清田 章	艶金工業(株)
古賀 弥次	東京エレクトロン九州(株)
佐藤 元	(株)三井三池製作所
嶋 大寛	(株)オニザキコーポレーション
小高 伸一	竹下産業(株)
田中 英一	出光興産(株)
辻中 啓二	西研グラフィックス(株)
上野 信弘	(株)ヤマサキ
中川 勝也	日立造船(株)
西村 和博	九州スズキ販売(株)
野村 慎	(株)喜多村製作所
橋野 彰	東京アカデミー(進学)
東 雅喜	(株)大川鉄工
藤 和	(株)お菓子の香梅
松 健	(株)チパコー
真 三	三菱重工(株)広島製作所
宮 野	(株)N T T ファシリティーズ
雪 野	末吉工業(株)
アユミ	安川エンジニアリング(株)
戸田 和	アユミ電業(株)
尾宅 健	九州三菱電機プラントサービス(株)
三宮 美	佐賀大学(進学)
宮 野	太田工業(株)
雪 野	豊橋技術科学大学(進学)
テック・アブドル・ジャリル	日本科学冶金(株)
	東レ(株)
	熊本大学(進学)
	Sankyo Precision (Malaysia) Sdn.Bhd.

電気工学科

氏名	就職先
稲岡 剛	(株)九電工
上津原 英樹	東陶機器(株)
浦川 健	明電エンジニアリング(株)
大淵 正	日本放送協会
小淵 真	富士電機テクノエンジニアリング(株)
小釜 真	(株)あいはら
河野 和	(株)上野製作所
城戸 幸	東芝エレベータテクノス(株)
小佐 信	(株)N T T ファシリティーズ
坂本 孝	出光興産(株)
渡辺 康	(株)オニザキコーポレーション
志高 敏	日本電信電話(株)九州支社
只田 敏	佐世保重工業(株)
塚本 正	(株)サンエ電工社
堤 章	ヤンマーエンジニアリング(株)
津 留	(株)オニザキコーポレーション
内 藤	コンドールテック(株)
中 司	本州製紙(株)
中 島	末吉工業(株)
田 健	日本電気計器検定所福岡試験所
鍋 倉	日本電気フィールドサービス(株)
野 口	福岡東陶(株)
	佐賀大学(進学)
	九州工業大学(進学)
	長岡技術科学大学(進学)
	安川プラントエンジニアリング(株)
	三菱重工(株)広島製作所

氏名	就職先
濱本 光一	西日本プラント工業(株)
林 田	九州旅客鉄道(株)
原 成	リコーテクノネット(株)
古城 浩	東芝メディカル九州サービス(株)
崎 健	九州電力(株)
山 健	日本電気計器検定所熊本試験所
岡 大	八光オートメーション(株)
吉 大	直方東芝エレクトロニクス(株)
吉 保	三菱電機ビルテクノサービス(株)
	トステム(株)

電子情報工学科

氏名	就職先
網野 雅章	東京エレクトロンFE(株)
石野 誠	第二電機(株)
井上 由紀	大牟田市役所
内村 知雅	日本電産(株)
浦田 和	豊橋技術科学大学(進学)
大石 和	熊本市役所
緒方 華	岩下エンジニアリング(株)
鐘ヶ江 たか子	(株)昭和
蒲池 香子	日本調剤(株)
川 弘	東芝エレベータテクノス(株)
木 泰	(株)旭精機
清村 誠	(株)セガ・エンタープライゼス
関 明	新潟大学(進学)
田 島	八光オートメーション(株)
保 中	(株)安川電機
越 宗	直方東芝エレクトロニクス(株)
戸 順	(株)庄司設備設計事務所
橋 真	平井精密工業(株)
林 美	九州大学(進学)
平川 美穂	レンタルのニッケン(株)
藤 祥	(株)グイモク家具販売
藤 亮	日本たばこ産業(株)
船 浩	佐賀コンピュータ専門学校(進学)
古 別	日本オーチス・エレベータ(株)
堀 川	(株)関西廣済堂
堀 川	(株)誠和システムズ
前 原	九州工業大学(進学)
松 尾	(株)デジタルツアーカー九州
宮 永	三瀨郵便局
森 永	道路通信エンジニア(株)
矢 治	(株)片山鉄骨
山 山	(株)日立メディコ
吉 田	矢部川電気工業(株)
テドリコ・ホベヤノ・カウティヴォ	(株)東洋システム
	日本科学冶金(株)
	九州地理情報(株)
	(株)日本交通公社
	第一施設工業(株)
	西日本旅客鉄道(株)
	上野精機(株)

工業化学科

氏名	就職先
秋山 伸一	(株)環境工学コンサルタント
旭 達一	(株)サンアイ
安 植	富士ダイス(株)
植 田	(株)日本ポリテック
宇 佐	プロミス
内 田	空研冷機(株)

氏名	就職先
内村 哲	三興コントロール(株)
梅原 栄	千興ファーム協業組合
大塩 幸	九州大日本印刷(株)
小瀬 幸	大阪府立大学(進学)
小田 幸	進学希望
小金 幸	有明環境整備公社
菊池 幸	(株)旭精機
神代 幸	(株)同仁化学研究所
古川 幸	関東化学(株)
小堀 幸	熊本機能病院
榮 幸	大谷塗料(株)
神 幸	(株)サンアイ
古 幸	光栄精工(株)
吉 幸	東レ(株)
吉 幸	三菱重工(株)長崎造船所
米 幸	(株)中村製紙所
	(株)アルム
	(株)三井ハイテック
	九州工業大学(進学)
	(株)大塚製薬
	未定
	豊橋技術科学大学(進学)
	日本化学発光(株)
	東洋印刷製本(株)
	東海塗装(株)
	日光化成(株)
	三井大牟田病院
	三洋化成工業(株)
	九州工業大学(進学)
	(株)日本触媒
	大和町役場
	ファイン化学研究所
	(株)オニザキコーポレーション
	オーム乳業(株)
	テイサン(株)
	九州大学(進学)

建築学科

氏名	就職先
秋山 知彦	クボタハウス(株)
足立 知彦	西松建設(株)
石川 知彦	東建設(株)
石川 知彦	平和総合コンサルタント(株)
石川 知彦	佐藤工業(株)
石川 知彦	清水建設(株)
石川 知彦	(株)穴吹工務店
石川 知彦	丸紅建設(株)
石川 知彦	太陽建設工業(株)
石川 知彦	(株)片山鉄骨
石川 知彦	(株)佐藤組
石川 知彦	住友化学工業(株)
石川 知彦	三菱化成エンジニアリング(株)
石川 知彦	(株)東芝
石川 知彦	九州旅客鉄道(株)
石川 知彦	(株)N T T ファシリティーズ
石川 知彦	ユニチカ(株)
石川 知彦	松井建設(株)
石川 知彦	熊本大学(進学)
石川 知彦	大和ハウス工業(株)
石川 知彦	(株)小竹組
石川 知彦	福岡中小建設業共同組合
石川 知彦	東レ建設(株)
石川 知彦	(株)N T T ファシリティーズ
石川 知彦	(株)新井組
石川 知彦	日本下水道事業団
石川 知彦	第一建設(株)
石川 知彦	西日本旅客鉄道(株)
石川 知彦	東京ガス(株)
石川 知彦	大日本土木(株)
石川 知彦	福岡市役所
石川 知彦	(株)柿原組
石川 知彦	三井ホームエンジニアリング九州(株)
石川 知彦	西松建設(株)

氏名	就職先
元村 進一	(株)柄谷工務店
安井 光洋	共栄建設(株)
武正 憲	熊本大学(進学)
山下 広	(株)鴻池組
吉田 陽	野中建築事務所
田 潤	(株)東洋空調
田 英	松尾建設(株)
村 智	日本メックス(株)
米 由	三井ホーム(株)

◎成績優秀者

学科	氏名	学科	氏名
M	雪野 竹志	C	内藤 和弘
E	古城 浩介	A	合屋 修一
I	橋本 順子		

◎5年間皆勤者(8名)

学科	氏名	学科	氏名
M	奥田 剛	E	大淵 健児
	清田 勇	I	山中 智美
	中西 和博	A	山田 智美
			安井 光洋

◎5年間精勤者(32名)

学科	氏名	学科	氏名
M	河上 伸	I	浦田 雅裕
	野島 憲		清田 和
	宮島 憲		山原 千波
	雪野 竹志		梅原 浩
		C	秋山 伸一
			菊池 千恵
			古永 純
			坂本 隆
			坂本 正
			只野 孝
			古城 健太郎
		A	石野 誠
			井上 由紀
I			家門 浩史
			木村 修一
			野田 英介
			宮崎 圭進

◎1年間皆勤者(17名)

学科	氏名	学科	氏名
M	奥田 剛	E	中島 繁
	清田 勇		古城 浩
	中西 和博	I	山田 智美
	橋野 彰	C	リー イスカンダル
	三 めぐみ		家永 浩史
		A	宮崎 圭
E	上津原 英樹		安井 光洋
	大淵 健児		
	只野 正		

◎1年間精勤者(21名)

学科	氏名	学科	氏名
M	河上 伸	C	秋山 伸一
	宮島 憲		植田 博
	雪野 竹志		永吉 沙緒理
	テック・アブドル・ジャリル		門本 和久
		A	合屋 修一
			稲浦 英美
E	稲浦 剛		川原 尚
	岡川 強		渡辺 健
	猿渡 康		松本 健太郎
	井上 由紀		松本 水元
I	井船 上		井船 元
	江 直		武正 一憲

学生表彰 (1年間皆勤・精勤者)

◎1年間皆勤者 (148名)

年科	氏名	年科	氏名	年科	氏名
1M	石坂 井	高徳 木	繁純 男	江川 藤	大真 輔
	板本 井	永松 水	純 敦	川清 村	真美 彦
	坂本 渡	峰野 中	敦 雅	中横 水	美洋 彦
	猿渡 渡	野中 横	雅 雅	横水 美	洋彦 彦
	猿渡 渡	中横 水	雅 雅	美洋 彦	彦彦 彦
	高橋 猿	横水 美	雅 雅	彦彦 彦	彦彦 彦
	猿渡 渡	美洋 彦	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦
	猿渡 渡	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦
	猿渡 渡	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦
	猿渡 渡	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦	彦彦 彦
1E	伊甲 藤	内坂 美	弥子 和	内古 山	野口 泰
	境坂 藤	坂新 美	和 和	古野 山	口 泰
	坂高 藤	高西 美	和 和	武山 山	中 泰
	筒筒 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	何橋 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	東山 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	渡山 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	渡山 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	渡山 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
	渡山 藤	原西 美	和 和	山 山	野 泰
1I	相青 川	今神 田	志隆 子	小尾 尾	山形 内
	阿石 川	神鶴 田	安也 子	尾坂 尾	野 内
	石一 川	中廣 田	仁平 子	坂山 尾	野 内
	井上 川	廣松 田	平 子	山 尾	野 内
	大高 川	松吉 田	人穂 子	山 尾	野 内
	猿渡 川	中光 田	穂子 子	山 尾	野 内
	中長 川	大 田	子 子	山 尾	野 内
	西野 川	倉下 田	香樹 子	山 尾	野 内
	濱前 川	高西 田	彰彰 子	山 尾	野 内
	吉 川	西米 田	二晴 子	山 尾	野 内
1C	上梅 園	磯中 花	幸幸 子	磯中 花	野 内
	梅城 木	花平 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	平山 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	山 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内
	城 木	花 花	幸幸 子	野 内	野 内

◎1年間精勤者 (159名)

年科	氏名	年科	氏名	年科	氏名
1M	荒小 木	国 臣	江小 見	勇敏 作	3E 松山 本
	佐末 柳	智 誠	久家 田	裕和 史	古津 賀
	末富 伯	俊 之	富安 富	直健 史	古津 賀
	日真 藤	哲 充	真部 部	史博 史	古津 賀
	富真 安	正 也	吉高 中	博祐 史	古津 賀
	安松 部	宜 聰	武高 中	祐史 史	古津 賀
	安松 部	將 聰	平高 中	史博 史	古津 賀
	安松 部	輔 聰	持高 中	史博 史	古津 賀
	安松 部	輔 聰	持高 中	史博 史	古津 賀
	安松 部	輔 聰	持高 中	史博 史	古津 賀
1E	出小 荒	寛 隆	安池 藤	由昌 美	3C 小井 手
	隅永 柳	子 隆	藤田 田	昌理 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
	野西 野	一 隆	田 田	明代 代	古坂 手
1I	北筒 田	俊 誠	内 内	沙 香	4M 柿 原
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
	筒筒 田	介 誠	瀬西 瀬	真由 美	有 江
1C	石大 橋	介 剛	入 入	智由 亮	4E 大西 友
	大久 保	剛 剛	宇大 都	正美 理	前川 山
	佐古 保	剛 剛	大永 都	美瑞 理	川尾 山
	古木 保	剛 剛	永光 都	瑞 理	尾山 山
	木下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
	坂下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
	坂下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
	坂下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
	坂下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
	坂下 保	剛 剛	光光 都	理 理	山山 山
2M	鹿見 島	規 規	池石 松	松橋 隆	3E 池石 松
	下村 中	規 規	石尾 齊	橋川 隆	石尾 齊
	土平 中	規 規	尾齊 齊	川藤 隆	尾齊 齊
	廣松 中	規 規	齊藤 齊	藤中 隆	齊藤 齊
	松野 中	規 規	藤中 齊	中永 隆	藤中 齊
	野 中	規 規	中永 齊	永合 隆	中永 齊
	野 中	規 規	永合 齊	友 隆	永合 齊
	野 中	規 規	友 齊	博 隆	友 齊
	野 中	規 規	博 齊	大 隆	博 齊
	野 中	規 規	大 齊	大 隆	博 齊

春季球技大会

5月24日に行われた春季球技大会は、雨天の心配もなく試合をすることができました。大会では素晴らしい試合が決勝戦だけでなく、1回戦の試合からもみることができました。以下にその主な結果を報告します。

	優勝	準優勝	MVP
ソフトボール	5M	5A	5M 古川 茂雄
バレーボール	3M	5E	3M アイザツ
卓球	1E	2A	1E 高倉 秀利
テニス	5M	3A	5M 澤田 浩介
女子バレー	5A	5I	5A 平木 賀子
最優秀クラス	5M	優秀クラス	5A

大会最後に行われたソフトボールの勝者が最優秀クラスになれるとあって、試合に参加している選手はもちろん観客などもたくさん来て、一番の盛り上がりを見せていました。優勝・準優勝に5年生がたくさん姿を見せていますが、やはり団結力が強いチームが上の方まで勝ち上がることができるようです。次の大会ではどのクラスも団結して今回よりも素晴らしい大会にしてほしいと思います。

寮生球技大会



開校記念日の4月20日、新入寮生の歓迎と寮生間の親睦を深めるため、寮生出身地別球技大会が開催されました。福岡A、福岡B、北九州、八女・久留米、熊本、長崎などの出身地別にチームを作り、ソフトボール、バレーボール、卓球、および女子バスケットボールの競技を行いました。晴天のもと、寮生全員、和気あいあいと楽しい時を過ごしました。総合優勝は、八女・久留米地区でした。

研修旅行 (第4学年)

期 間 平成7年5月9日(火)~12日(金)

◎機械工学科 (学生39名:原楨・堤 引率)

- 守口市 (松下電器技術館)
- 門真市 (松下電器歴史館)
- 長久手市 (豊田博物館)
- 豊田市 (豊田会館)
- 沼津市 (東芝機械 沼津工場)

◎電気工学科 (学生37名:小沢・河野 引率)

- 横浜市 (東芝 京浜事業所)
- 渋谷区 (NHK放送センター)
- 大田区 (日本航空(株) 羽田整備工場)

◎電子情報工学科 (学生41名:簗田・瀬々 引率)

- 川崎市 (東芝科学館、東芝 柳町工場)
- 千代田区 (科学技術館)
- 秦野市 (日立製作所 汎用コンピューター事業部)

◎工業化学科 (学生39名:正留・宮本 引率)

- 摂津市 (ダイキン工業(株) 淀川製作所)
- 寝屋川市 (日本科学冶金(株) 寝屋川工場)
- 大津市 (東レ(株) リサーチセンター)

◎建築学科 (学生42名:北岡・松岡 引率)

- 神戸市 (北野異人館)
- 奈良市 (薬師寺、東大寺、平城京跡朱雀門復元工事現場)
- 大阪市 (梅田スカイビル、天保山ハーバービレッジ)



平成6年度資格試験合格者

◎情報処理技術者試験 (第2種)

学年・クラス	氏名
4 E	中 島 孝 明
5 E	中 島 繁

本冊子中 M・Eなどとあるのは、次の学科を意味するものです。

M (機械工学科)、E (電気工学科)、I (電子情報工学科)、C (物質工学科・工業化学科)、A (建築学科)

行事予定

4月11日	入学式
4月28日	遠足
5月24日	春季球技大会
6月12日	前期中間試験(16日まで)
7月17日	保護者懇談会(18日まで)
7月21日	九州地区高専体育大会(23日まで)
8月4日	全国高専体育大会(6日まで)
8月22日	編入学試験(工業系)
9月14日	陸上記録会
10月2日	前期末試験(6日まで)
10月9日	学校説明会(福岡地区)
10月29日	学校見学会
11月4日	高専祭(5日まで)
11月30日	冬季球技大会
12月18日	後期中間試験(22日まで)
12月20日	編入学試験(普通系)
2月13日	5学年学年末試験(16日まで)
2月18日	入学試験
2月28日	1~4学年学年末試験(5日まで)
3月18日	卒業式

公開講座のお知らせ

講座名	期 日	対 象
楽しい 電子工作教室	平成7年7月24日~25日 (9:00~16:00)	中学生
やさしい 化学実験講座	平成7年7月26日~27日 (9:00~15:00)	中学生
災害に強い 住まいの構造	平成7年7月25日~29日 (18:00~20:00)	一 般
パソコン お絵かき講座	平成7年8月7日~8月8日 (9:00~15:00)	中学生

「晩 秋」

実習工場技官・木下正作氏の日本画で、大きさはS40号(100cm×100cm)。文化庁が主催する国民文化祭(平成6年度)の文部大臣奨励賞受賞作で、現在、作品は寄贈され、佐渡の美術館に飾られています。



編集後記 ◆

阪神大震災の恐怖も覚めやらないうちに、今度はAUM騒動である。心を乱すのはほかにもある。不況、円高、政治不信、民族紛争、エボラ出血熱 etc. 教え上げるとキリがない。そして、学生にとって無関心ではられない就職難。昨年の全国高専の平均就職内定率97%。本校も100%ではなかった。失業率も3.2%で、過去最悪である。失業者は数にして214万、そのうち16万人は新卒学生である。こんなときこそ学生は勉学に励んでほしい。幕末から明治の騒然とした時代を生きた福沢諭吉は「無学は不幸」と訴え「学問のすすめ」を説いている。

有明高専だより 第86号

平成7年6月15日

編 集

有明高専広報委員会
発 行有明工業高等専門学校
〒836 大牟田市東菟尾町150
TEL 0944-53-1011(代)